

岩見沢市地域福祉計画素案に対する意見募集の結果について

〈募集期間：平成29年2月6日(月)～2月20日(月)〉

【意見提出：8件】

No.	岩見沢市地域福祉計画素案に対する意見	意見に対する考え方
1	P9.(2)岩見沢市地域福祉計画庁内連携会議 行政の縦割りの弊害が言われている中で行政の関係部門が連携して横断的に検討されたことは良いことだと思う。	ありがとうございます。今後も関係部門が連携し、横断的に地域福祉の推進に取り組んでまいります。
2	P9.(3)岩見沢市「地域福祉に関する市民アンケート」調査 市民アンケートは興味深く見たが、市政に対する無関心者が多いのか、回収率49.1%は残念だ。他の市政アンケートも同じくらいの回収率なのか知りたい。	回収率49.1%は、対象者を無作為に抽出した、郵送方式によるアンケート調査としては高い回収率となっており、関心の高さを表していると受け止めております。 〈参考：他の市政アンケート回収率〉 ・障がい者(福祉)計画(H26.11月) 33.7%(一般分) ・健康増進計画(H26.10月) 38.9% ・高齢者保健福祉計画(H26.6月) 66.5%(高齢者のみ) ・子ども・子育てプラン(H25.12月) 40.6%(就学前児童のいる世帯) 42.3%(小学生のいる世帯) ※それぞれ、対象者、対象者数は異なるため、単純比較できないことにご留意願います。
3	P34.計画の体系 計画の体系図はとても見やすい	ありがとうございます。
4	P35.～施策の展開 計画目標 白黒のためかとても見づらい。もっと工夫が必要。	計画素案から最終的な計画策定の段階において、見やすいように工夫いたします。
5	P36.基本施策1 身近な相談窓口の充実と福祉情報の提供 個別施策①民生委員・児童委員活動の充実となっているが、それだけで良いのか。窓口はもっとたくさんあると思う。市民はどこへ行ったらよいかわからないでいる。関連する窓口の一覧が必要。	ご指摘のとおり、窓口は多岐にわたります。「いわみざわ暮らしの便利帳(全戸配布)」を始めとする情報誌にも窓口の一覧の記載がございますが、実際にはどこへ行ったらよいかわからない場合もあるかと思っておりますので、個別施策②にも記載している、「福祉情報の提供」について、今後、向上に向けて、検討してまいります。
6	P41.ユニバーサルデザイン ほか 用語解説があるが、例えば、P48の「SNS」など、他にも用語解説が必要な単語があるのではないかと。	計画素案から最終的な計画策定の段階において、他にも用語解説が必要な単語について検討し、必要な単語の用語解説を追記いたします。
7	P42.基本施策7 福祉事業者の育成と支援 「福祉事業者の役割がますます重要となってきています。」には同感ですが、市は社会福祉法人だけでなく、各種福祉事業者の指導はできないのですか？事業者全体のサービス向上が必要に思います。	社会福祉法人については、社会福祉法上、市に指導・監督権限があるために、今回、社会福祉法人を明記させていただいておりますが、事業者全体のサービス向上の必要性は、十分に認識しており、適宜、改善に努めているところであります。 そのため、法律上の指導・監督権限がない、各種福祉事業者に対しても、引き続き、適切な方法で改善を促し、今後とも市の事業者全体のサービス向上に努めてまいります。
8	P43.基本施策8 市民の健康増進 岩見沢市健康増進計画や健康経営都市についてよくわからないのですが、介護予防の観点が出てくる気がします。	ご指摘のとおり、介護予防の観点は重要かと思っております。介護予防の観点について、下位計画である、「岩見沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」や「岩見沢市健康増進計画」において、検討してまいります。 また、それぞれの計画や健康経営都市について、わかりやすい周知に努めてまいります。